

災害から命を守るために

ゲリラ豪雨や台風などによって、災害が発生しやすい季節が間もなくやってきます。毎年のように発生する災害に対し、私たちは「命を守る行動」をとらなければいけません。しかし、準備なしにいきなり行動を起こすことは難しく、日ごろからの準備や心構えが大切です。

私たちは、災害からどのように命を守れば良いのでしょうか。災害が発生した時の備えや行動について考えてみましょう。

発表される情報に注意を！

避難情報などをお知らせする際、警戒レベルを5つの段階に分けて発表しています。災害が切迫しているか既に災害が発生しているレベル5になる前には、危険な場所から避難を行う必要があります。レベルの「数字」とそれぞれに振り分けられた「色」に注意しておきましょう。

警戒レベル		避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b>
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

## 普段から情報入手しておくことが大切です

スマートフォンなどの通信機器を使って簡単に情報が入手できるようになりましたが、天気や行政からのお知らせなどを普段から確認しておくことで、いざという時に情報をスムーズに取り入れることができます。



気象庁  
「キキクル」



ハザード  
マップ



長崎県河川砂防  
情報システム



地区の登録を行うことで警戒レベルなどのお知らせが届きます。

## 避難行動とは

### 立ち退き避難



避難所への移動



安全な場所への移動  
(親戚や友人の家など)



近隣の高い建物などへの移動

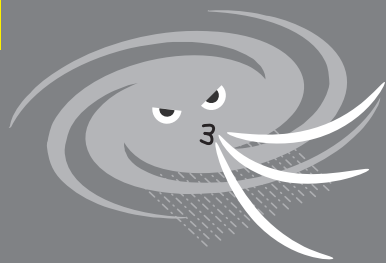
### 屋内安全確保



建物内の安全な場所での  
退避(2階など)

## 避難について知っておくべきポイント

- 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。
- 避難先は、避難所だけではなく、安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。



# 対馬に台風が接近したら…

毎年のように台風や大雨による被害が発生している対馬。これまで起こったできごとを参考に、対馬で起こるかもしれないことをシミュレーションしてみましょう。皆さんの備えのヒントになるかもしれません。

## 台風 接近前



### こんなことがあるかも…

台風に向けて食料品や養生テープ、ビニールシートなどを買いに来たけれど、お店の棚は空っぽで必要なものが購入できなかった。

### 解決のヒント！

小売店では、需要を予測して多く仕入れるなどの対策を行っていますが、予想を上回ることもあります。普段使う量よりも少し多く購入しておくことで、備蓄にもつながります。また、フェリーなどは海が荒れる前に欠航することもあります。海況などをチェックして早め早めの行動を！

## 台風 接近中



### こんなことがあるかも…

高齢者だけの世帯で、避難場所へ移動することができず、付近の河川が氾濫。何とか2階に退避したものの、不安な一夜を明かした。

### 解決のヒント！

気象状況の変化や夜間など、避難場所への移動が難しくなる前に行動しましょう。また、日ごろからご近所とのコミュニケーションをとって助け合いができるようにしましょう。本人からはなかなか言い出せないこともあります。帰省などで家族が集まった時、ご家族がご近所の方や消防団などへお願いしておくといいかもしれません。

## 台風 通過後



### こんなことがあるかも…

地区の入り口の道路が土砂崩れで通行止めに。停電も発生していて復旧の目途が立たない。

### 解決のヒント！

災害時、自動車は灯りや電力を得ることができる貴重な存在になります。また、暑いときや寒いときは、エアコンを使えば快適に過ごすことができます。しかし、燃料がなければ意味がないので、普段から燃料タンクが半分以上になったら給油するなどのルールを決めておくといいでしょう！

## 市が開設する指定緊急避難所

対馬市では、台風や大雨などによって災害が発生する可能性がある場合、右の10施設に指定緊急避難所を開設します。避難所が不足する場合には、そのほかの施設に避難所を開設します。開設した際には告知放送などで皆さんにお伝えします。

### ★避難所には必要な物を持参してください

避難所は、原則、避難するための場所のみを提供します。災害が発生する前に、避難所での食料や着替え、毛布など滞在できる準備を行い持参してください。

○対馬市交流センター（厳原地区公民館）  
【厳原町今屋敷661-3】

○豆酸住民センター【厳原町豆酸3075】

○佐須窓口センター【厳原町小茂田713】

○美津島文化会館【美津島町難知甲1287-1】

○豊玉文化会館【豊玉町仁位370】

○峰地区公民館【峰町三根451】

○中対馬開発総合センター【峰町佐賀608-1】

○上県町地域福祉センター「喜多の苑」  
【上県町佐須奈乙339】

○仁田地区コミュニティセンター  
【上県町樫滝1061-1】

○上対馬総合センター【上対馬町比田勝575-1】

避難所が開設された際、各避難所の混雑状況を長崎県防災ポータルを利用して確認することができます。ぜひご利用ください。



# みんなで災害を乗り越え

## 地域で防災力を高める

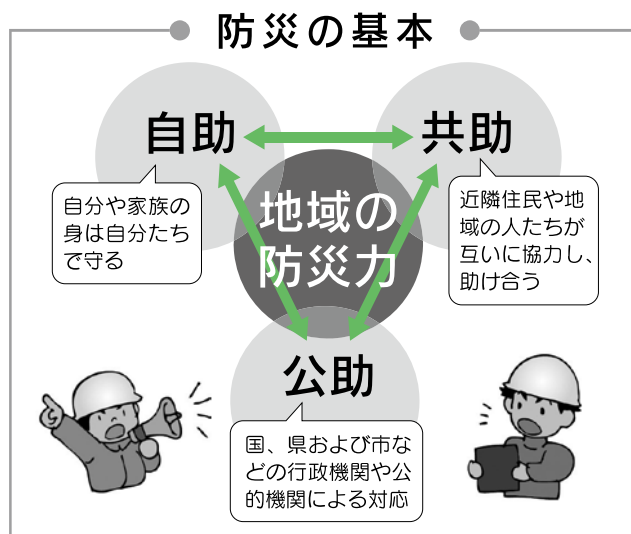
防災は、自分たちを守るために自ら動く「自助」、国や県、市などの行政や消防団などの公的機関が対応する「公助」、そして、地域の人たちが互いに協力して乗り越える「共助」の3つの力が合わさって成り立ちます。そのどれか一つでも欠けると、地域の防災力は弱くなり、不運にも災害に遭遇することになってしまう。

## 共助の一つ「自主防災組織」

災害発生時はもちろん、日頃から地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織が自主防災組織です。

平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食・給水などの活動を行います。

自主防災組織は、災害が起きてから活動をするのではなく、災害が起きる前から活動することができ、災害に備える活動ができます。また、災害発生直後の公助の手が届かないときに、住民同士で協力して活動することで、より災害から身を守ることができます。



助かろう



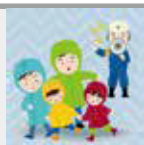
普段から災害に備え、早めに避難して、まず自分が無事に助かろう！

助けよう



防災の知識と技術を身につけて周りの人を助けよう！

助け合おう



お年寄り、障がいがある方、小さな子どもなどに気を配り、みんなで助け合おう！

## 自主防災組織をつくりましょう！

### ～活動の範囲～

地区単位または小学校区など複数の地区を含めた範囲となります。

### ～組織構成～

地区の役員が、そのまま組織の役員を兼ねる方式や地区役員とは別に、活動する地区の中で新たな役員で組織する方式などがあります。

### ～自主防災組織の活動内容～

- 平常時…防災知識の普及、防災訓練、必要な資機材などの備蓄 など
- 災害時…災害情報の収集・伝達、避難誘導、給食・給水活動 など

# るために必要な力とは？

## 支援メニュー

対馬市では、自主防災組織の結成を支援するため、結成や活動、防災力向上に対する補助制度を設けています。

★自主防災組織を新たに結成した際、防災資材などの購入費用を支援します。(結成年度のみ)

### 結成に関する補助

補助金額 構成世帯数×100円+3万円

例)ハンドマイク・バール・はしご・のこぎり・スコップ・  
ナタ・ハンマー・ロープ・照明・ブルーシートなど



★防災訓練や防災講習会などの活動に要した費用を支援します。(年1回)

### 活動に関する補助

補助金額 構成世帯数×300円(上限3万円)

例)防災訓練経費(炊き出し費用など)・活動にかかる保険料・防災士の資格受験費用



★活動に必要な高額防災資材の購入・修繕に要した費用を支援します。(年1回)  
※ただし10万円未満のものは除く

### 防災力向上に関する補助

補助金額 費用の2分の1以内(上限20万円)

例)小型消防ポンプの購入・防災倉庫の修繕



結成年度のみ3つ全て活用できます。詳しくは、地域安全防災室 ☎0920(53)6111

## 地域防災の担い手「防災士」

災害に備え、もしもの時に行動するためには、知識と心構えも重要です。防災士は、知識と心構えを持った、頼りになる存在です。

地震や大雨による災害のニュースを聞くたびに、自分の住んでいる地域でも何かやらないといけないのではという気持ちがありました。私の周りには、一人暮らしの方も大勢いて、もし同じような災害が発生した時、その人たちの安全は誰が守るのかなど不安に思っていました。そんな時、養成講座のことを知って受講することにしました。

講座を受けた後は、地域の集まりの中で防災について話したり、簡単にできる備えなどについてお知らせしたりしています。

これからは、一人暮らしの人や避難の時に支援が必要な人たちへの対応を、今から話し合っておくなど、地域全体で備える準備を進めていきたいと考えています。

地域防災は、現在起きている様々な災害を教訓に、自分事として考えられるかが大きなポイントになると思っています。講習を受けて資格を取って終わりではなく、新たな知識を学び続けて、もしもの時に備えていきたいです。



防災士 村岡 幸代さん

地震や大雨、台風などの自然現象に私たちが遭遇することで「災害」は発生します。私たちにとって大切なことは、正確な情報を手に入れて行動をおこし、その危険から逃れることです。そして、不運にも災害に遭遇してしまったときに、対処できる方法や、人々がつながり協力できる仕組みを作ることです。災害が起こりやすい季節が来る前に、今一度みんなで考えてみましょう。